

# 牛尾山 法嚴寺 ほうごんじ

牛尾観音 厄除け不動明王

HOUGONJI



清水寺奥院 修験道の聖地



当寺は古代の神山信仰に起源する。「牛尾山」は、山並みで連なる日吉大社神山と同名で、古事記の山神「大山咋神」(おおやまくいのかみ)を連想、山科の人々に稲作のための水の恵みを弥生時代からもたらしてきた。神祭祀の場所は、山頂にあった「音羽山権現社」で、垂仁天皇から「国土守護・国民豊楽」の祈念所とされた。天智天皇2(663)年、朝鮮半島での「白村江の戦い」の後、我が国は国防の時代となる。大津京に遷都された天智天皇は北九州から瀬戸内に築城され、都の磐となる牛尾山にも御参詣された。そして仏教からは観音信仰を招来、現世利益を願われて、のちに当寺に遷される「観音菩薩」をお手影りされたと伝わる。

奈良時代、「役小角」に代表される山岳修験の流れから、小島寺より「延鎮上人」が牛尾山に入山された。宝亀元(770)年の頃、この地で「行観居士」と出会い、光仁天皇勅許を賜り宝亀9(778)年、当寺創建となる。「坂上田村麻呂公」もまた「延鎮上人」と当地でご縁となった由来から、山号を「音羽山」、本尊を観音菩薩とする清水寺を創建された。また、その歴史的關係から、のちに江戸時代になっても 当寺を「清水寺奥院」と記される。平安時代には、「弘法大師空海上人」や「智証大師円珍上人」たちにより密教が伝来し、当地も修業の場所となる。

法嚴寺は、このように日本文化を象徴する自然な神山信仰から山岳修験、観音信仰、密教へ神仏習合してきた。平安京が誕生する以前に起源し、1200年以上の歴史を持つ「修験道の聖地」である。



護摩堂 杉の御神木「天地龍神」

## 当寺の歴史を伝える 古文書

「都名所図会」や、「雍州府志」、「京師巡覧集」など、江戸時代の文献に、本尊十一面観音菩薩が天智天皇御作になることや、延鎮上人と行観居士のご縁と当寺開山、天台宗寺門派の智証大師円珍による曼荼羅書写、さらに、清水寺奥院としての 当寺縁起 が 記録されている。音羽山については、多くの瀧や行観、空海に關係する旧跡、修業の窟が著るされる。さらに風光明媚を詠んだ 平安から鎌倉時代の古典、藤原定家たちの和歌で飾られている。

### 〔都名所図会〕

牛尾山法嚴寺は七曲の上にあり眞言宗にして本尊は十一面観音なり天智天皇の御作  
脇士は 不動毘沙門天 又 行観居士 延鎮法師の像を安置す 天智帝の社 神明社あり  
不動瀧天狗杉 は鐘樓の傍らにあり 黒泥巖金生水 は堂前にあり  
智証大師 此両品を以て紺帯金泥(こんしきんでい)の曼荼羅を書写し給ふとぞ  
當寺はむかし 延鎮 沙門 音羽川の水上を尋て 行観居士の沓(くつ)を拾ひ 大悲の化現なる事を智(さと)せる靈場なり 洛陽清水寺の縁起に委(くは)し 此沓 當寺の什寶(宝)なり 古は伽藍嚴重にして舊地は山上にあり 故に 清水寺奥院と稱しける

音羽山 又 牛尾山 ともいふ 追分より東南の山なり 音羽里 小山村は道のほとりにありて 一流の山川あり是を音羽川といふ 水上は 山科音羽瀧 にして 古より和歌多し (むかし延徳の頃 高水寺(かみすみじ)殿三品花溪といふ官婦の山荘あり 今西本願寺の別荘是なり) 此流れ右に見左に傍ふて牛尾観音堂に登る道に 安履石(あんりせき)あり 行観居士の沓此石上にありしといふ 弘法腰掛石 鮎尻瀧 調子滝 音羽瀧 は路の右にあり 仙人窟 五丈巖 は左のそば岨を登ること三四丁にあり

蛇が淵は陰路の左にありて 経石は其右にあり  
新後撰 宗尊親王 音羽山 花咲ぬらし逢坂の 関のこなたに匂ふ春風  
続後拾 後西園寺入道 夕されば 松吹風の音羽川 あたりも涼し山の下かけ  
拾遺 定家 音羽川 雪けの波も岩越て 関のこなたに春はきにけり  
続古 前左大臣 時雨のみ 音羽の里は近けれど 都の人のことつてもなし



「紙本著色法嚴寺縁起 絵巻」(江戸時代前期) 当寺の縁起と靈験について、詳細な記述と土佐派大和絵

### 〔都名所図会〕

京都地誌 江戸時代中期 安永9年(1780年)刊行  
本文 秋里籬島、図版 竹原春朝斎

(国際日本文化研究センター所蔵)



藤原定家 歌碑  
小山から法嚴寺への  
音羽川沿いに立つ

後西園寺入道 歌碑  
筆者 浅井定雄氏

音羽川沿い 法嚴寺への風景



HOUGONJI

【拾遺都名所図会】  
天明7(1787)年刊行 本文 秋里籬島、図版 竹原春朝齋  
(国際日本文化研究センター所蔵)



ムササビ  
寺に棲息



体験修行



厄除け不動明王



POWER SPOT

京都ではめずらしく「滝行」ができる体験修行で、遠方からも来られる。修験の祖「役ノ行者・神変大菩薩」が編出した六根、六境、六識を合わせ十八界。清浄のためには、滝の高さが十八尺が良い規格と説いています。当寺では「役ノ行者」の教え通りに十八尺の滝を作りました。

「厄除け不動明王」は、万物を表す「地・水・火・風・空・識」の「火」を表す護摩堂の本尊です。「滝行」は「水」を表す「五智滝」で行います。

体験修行のお問い合わせ・申し込みは、下記 寺務所まで  
推奨期間 6月から10月

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 本堂 本尊  | 十一面千手観世音菩薩          |
|        | 脇侍 不動明王 毘沙門天        |
|        | 延鎮上人 行寂居士 弘法大師空海 坐像 |
| 護摩堂 三尊 | 不動明王(厄除け不動明王) 愛染明王  |
|        | 十一面千手観世音菩薩          |

年中行事

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 元旦     | 新年修正会                 |
| 1月17日  | 初観世音会 (ぜんざい接待)        |
| 2月 3日  | 節分会                   |
| 4月17日  | 春季御開帳・探燈大護摩供          |
| 8月17日  | 夏季悪疫災難避法要             |
| 10月17日 | 秋季御開帳・大般若経転読法要        |
| 12月31日 | 除夜の鐘 (年越し蕎麦の接待)       |
| 毎月17日  | 護摩供・観音菩薩の月例祭 (午後1時から) |

交通

徒歩: JR山科駅から京阪バス「小山」から 約1時間(音羽川側道)  
車: 名神高速道路「京都東」から駐車場まで 約15分  
音羽川沿いは狭路 駐車場(約20台)より 徒歩15分

法嚴寺

天智天皇陵 推定地

JR山科駅

名神高速道路 京都東

京阪バス 小山 停留所

音羽山

行者の森

坂上田村麻呂公 墓所

法嚴寺

法嚴寺 本山修験宗

〒607-8069 京都市山科区音羽南谷1

寺務所 075-593-8003 (FAXも同じ)

「復興支援金」お振込についてのお願い

口座「ゆうちょ銀行」記号14430 番号15353701 ホウゴンジ

「ゆうちょ銀行」ATMで電信振替にてお振込いただけますと、手数料が無料となります